

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会 場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委 員：岡田則之、島田修、反町清

大谷浩一、山本栄治

2004～05 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

第1913回 IM [場所：行田アイトピア] (2月24日)

2004～05年度 第2570地区 第5グループ Intercity Meeting



実行委員長挨拶 永島健雄 委員長

2570地区第5グループ、インターシティミーティングの開催に当たり、多くの会員各位にご参加賜り誠に有り難うございます。

私達第5グループは、利根川と荒川流域に位置しておりますので、この地域共通のテーマをRCとして何が必要か、共に考え、共に学ぶことはないかと、そして、それを未来に役立てる事はないかと模索しました。

「安心な暮らし、安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地球温暖化に伴い、地球環境の変化で各地で洪水のニュースが報道されていますが、この地域でも歴史を学びますと、先人が如何に治水、利水にご苦労された事が伺えます。

行田市の北西部で利根川と合流する福川をさかのぼりますと、古めかしい堤防があります。この堤防は「中条堤」とよばれ、明治末期まで埼玉の平野を水害から守る要となっていたそうです。

慶長年間（1596～1615）年の築造といわれ、明治（1910）年に始められた近代改修により、ようやく終止府を打ったそうです。しかしこの川もひとたび氾濫すると、元どおりの流れになる可能性も考えられます。自然の力とは不思議なものなのです。

利水、治水、そして水の重要性を認めるという原点に立った時、我々は次の世代どう事実を伝えていかなければならない使命があります。そして水の汚れは人の心の汚れにも通じます。精神面でも、水と人間は共通します。

次年度RI会長のテーマも、「水」と「品格ある人創り」であります。

全ての基本は水。水が大切に役立っている世界をもう一度考え直す必要が有るのではないのでしょうか。

歓迎の言葉

行田 R C 黒淵陽夫 会長



皆さん今日は！

本日はようこそ行田迄お出で頂き、ありがとうございます。

2004年～2005年度第2570地区第5グループI・Mの開催をご案内申しあげましたところ、各クラブより沢山の会員の皆様にお出でいただき、厚く感謝申し上げます。

日頃は、私ども行田クラブの諸貴健一会員が地区ガバナー補佐として皆様に大変お世話になっており、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本年は国際ロータリー100周年の記念すべき年にあたり、各グループ各クラブで100周年を祝う行事を行ってほしいとの地区の意向に沿って100周年を記念する行事が、各グループ、クラブでそれぞれ行われておるとお聞きしております。

私ども行田クラブも、将来を託す子供達のために行田市立図書館に3年計画で昨年、今年と行田ロータリー文庫を設立いたして、そこにそれぞれ100万円ずつ計200万円の児童図書をおよそ2千冊寄贈いたしました。また今後は贈書だけでなく、本の活用を考え読み聞かせの大切さを知って頂こうと、講演会と演奏会を、ただ今、企画しております。後ほどご案内を致しますので宜しくお願いいたします。

さてそれでは、私たち第5グループとしては創立100周年をどう捉え、そしてどのようなテーマの下、I・Mを開催して行こうかと考えましたが、ただいま、永島I・M実行委員長からもお話があったような趣旨で「水、まちづくり」というテーマの下、本日のI・Mを開催していくことに決定し、ものづくり大学の増淵助教授にご講演をお願い致し、行田クラブの全員の協力の下準備を重ね、本日を迎えることが出来ました。

もとより私ども行田クラブは、まだまだ未熟者の集まりでございます。私どもなりに万全を期して計画してまいりましたが、本日のこのI・Mを成功させるかどうかは、ご参加いただいた皆様のご協力を頂かねばなりません。

どうか最後までご参加いただきまして、本日のI・Mが実りの多いI・Mとなりますよう、宜しくお願いいたします。

皆様方のご参加に重ねて感謝申し上げます、私の歓迎のご挨拶と致します。

ありがとうございました。

来賓挨拶

橋田ガバナー代理 地区幹事 萩野薫 様



橋田ガバナーが東京で行なわれるガバナー会議と重なり、欠席となりました。

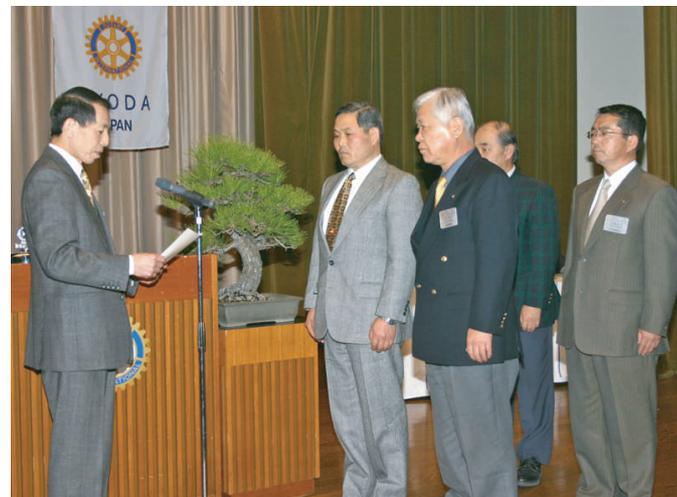
地区の現状報告で挨拶とさせていただきます。

会員状況については7月2,221名でありましたが、1月2,229名と現状を維持できました。

各クラブのインターネット導入は7月56クラブ中で27クラブが未導入でしたが、現在は3クラブのみとなっていますが、3月までには総て導入予定となっています。

以上、2点について現状報告を戴きました。

表彰



記念講演

ものづくり大学助教授 増淵文男 先生

ヨーロッパの事例をご紹介頂きながら、「水、まちづくり」についてご講演頂きました。









IMを終えて

第5Gガバナー補佐 諸貫健一

R12570地区第5グループIM（都市連合）が2005. 2. 24に行田ロータリークラブ主管で開催されました。

当初、地区ガバナーの意向で「各クラブがロータリー誕生100周年を祝おう」との話だったが、途中でIMも2月23日の記念日に合わせて行う祝賀行事的な傾向となって行きました。

行田クラブは次年度の黒淵会長エレクトの計らいで、7月初め提出のクラブ年度計画書には永島実行委員長をはじめ、小池PG年度の地区大会実行委員を多く含む14人の実行委員会が組織されて、黒淵年度の9月27日には第1回IM実行委員会が開かれ、この時は未だ方向性も定かではなかったが、私の頭の中には普段の行田らしいIMにしたい、アトラクションは中央小に御願いたい、この2点がありました。

翌年1月29日の第4回実行委員会を終わって、IMの輪郭が見え始め、2月21日、中央小を訪ねて山本校長の全面的支持を得て、成功を確信。

前日、会場アイトピアでのリハーサルは各担当責任者の熱気で3時間を越え、当日のイメージがはっきり見えました。

第5G11クラブの全員登録も完了。当日は前日の風も止み、穏やかな曇り空。

合同例会の頭で、中央小4年2組の器楽と語りと

合唱の「諏訪大明神と川エビ」が、今日のテーマ「水とまちづくり」を暗示して簡素な例会後、増淵先生の「橋を中心とした今後の地域の課題」がプロジェクターと話術で提案され1部が終了。

第2部は部屋を変えて、懇親会が始まる前に桜井京子先生指揮の中央小5年生50人の吹奏樂が、集まったロータリアンを出迎えた。そのレベルは流石埼玉県代表、11クラブの会員は立ったまま30分間私語も無く眼を丸くして聞いてくれました。

アンコールの「シング・シング」が拍手喝采で終わった後、小池PGの発声で乾杯の音頭。懇親会は和やかに進み、最後は参加ロータリアンが手に手をつないで歌声のなか解散。

行田クラブは全員が担当を割り当てられ、全員が責任を果たしてくれました。

「ガバナー補佐をやって良かった」

第5グループ、11クラブの皆さん、行田ロータリークラブの皆さん（吉田事務局員さんも）有難う御座いました。

出席報告

正会員数	76名	●	メイクアップ	0名
本日の出席者	47名	●	出席率	61.84%